

学校教育目標『自らの課題に取り組む主体性の確立を指向し、創造的思考力に富み、豊かな人間性を備えた心身ともに健康な人間の育成をめざす』

学校通信

殿馬場中だよい

【保護者・地域のみなさまへ】

83人の新入生を迎える新年度をスタート しっかりととした「目的」をもって「目標」を掲げる! 本年度教育重点目標「ひるくるつながるの往還をめざし、主体性を育成する」

4月6日（火）に新入生83人を迎えて入学式を行い、新たなスタートを切りました。今年度も、感染対策のために、来賓・在校生等は参加せず、時間短縮で実施しました。

2年連続のコロナ禍での入学式となり、たいへん心苦しく感じています。ただ、今年度は少しでも例年に近い形に近づけるために、教室に入れない保護者のために教室での学級開きの様子を体育館までライブ配信し、お子様の様子をお伝えしました。また、在校生が参加できないので、生徒会役員からビデオメッセージを流しました。

そしてさらに、縮小した入学式を少しでも充実させるために、1年生の学年主任が手品を披露し、中学校の学習について話をしました。

みなさんの協力のおかげで、いい入学式ができたと思っています。本日8日（木）から、全校生徒で令和3年度をスタートします。

新年度をスタートするにあたり、各学年、学級ともにそれぞれ目標を掲げると思います。この時期だからこそ再度原点にもどって、教職員が教育の目的をしっかりと持って、それぞれの目標を掲げてスタートしたいと思います。

昨年度も紹介しましたが、短い話なので、目的が大事なとえ話として、イソップ物語の「三人のレンガ職人」の話を再度紹介します。

中世のある町で一人の旅人が、三人のレンガを積んでいる男たちに出会います。そこで旅人はそれぞれに「何をしているのか？」と尋ねました。

一人目の男は「毎日レンガを積まされているんだ」と言いました。

令和3年4月号
堺市立殿馬場中学校
校長 茶谷 佳行

二人目の男は「家族を養うために毎日レンガを積んで働いているんだ」と答えます。

三人目の男は「歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ。素晴らしいだろう」と答えました。

三人の男たちにとって「目標」は共通です。一日に何個のレンガを積むとか、いつまでに自分の担当したところを仕上げるといったことです。

ところが「目的」は3人とも違います。

一人目の男は目的を持っています。やらされて積んでいるだけです。

二人目の男は生活費を稼ぐのが目的です。

三人目の男は歴史的な事業に関わり、世の中に貢献することが目的です。

一人目の男は、きっといやいや働くことになります。二人目の男は、仕事に対して楽しみややりがいをあまり持たないでしょう。三人目は仕事にやりがいと意義を感じて精を出して働きます。

さて、我々も目的をしっかりと持って目標を達成しなければなりません。教育の目的は教育基本法に「人格の完成」と書いてあります。

三人目の男が教師という職業なら、目を輝かせてこのように答えるのではないかでしょうか。

「目の前の子どもたちが、将来幸せに過ごせるように、十分な知識を身につけさせて、そして自分で考え、行動できる人間に育てたいんだ。子どもたちを計画的に学習させることができるのは、我々教師だけだ。子どもたちの将来に大きく影響できるはずだ。子どもたちは先生を選べない、だから最高の先生であり、今自分が出来る最高の教育を受けさせてあげたいんだ。子どもたちと最高レベルの3年間を過ごすために、計画を立て、最高の授業を日々めざしているんだ。子どもの将来に貢献する仕事ができるなんて本当にワクワクするよ。そして、そんな子どもたちは、将来すばらしい社会を創ってくれるよ。」

ここにあるように、教員として、強い使命感と情熱をもって子どもたちの教育にあたりたいと思います。そのためにも、我々教職員が学び続ける教員であり、さらなる向上をめざします。

1年生で数学、2年生で英語の習熟度別授業を実施します。

昨年度同様、1年生で数学、2年生で英語の各授業において、クラスを2つに分けるなどにて、少人数により生徒の理解度に応じた授業の工夫等、きめ細かい指導を行っていきます。

→裏へ（教育重点目標について）

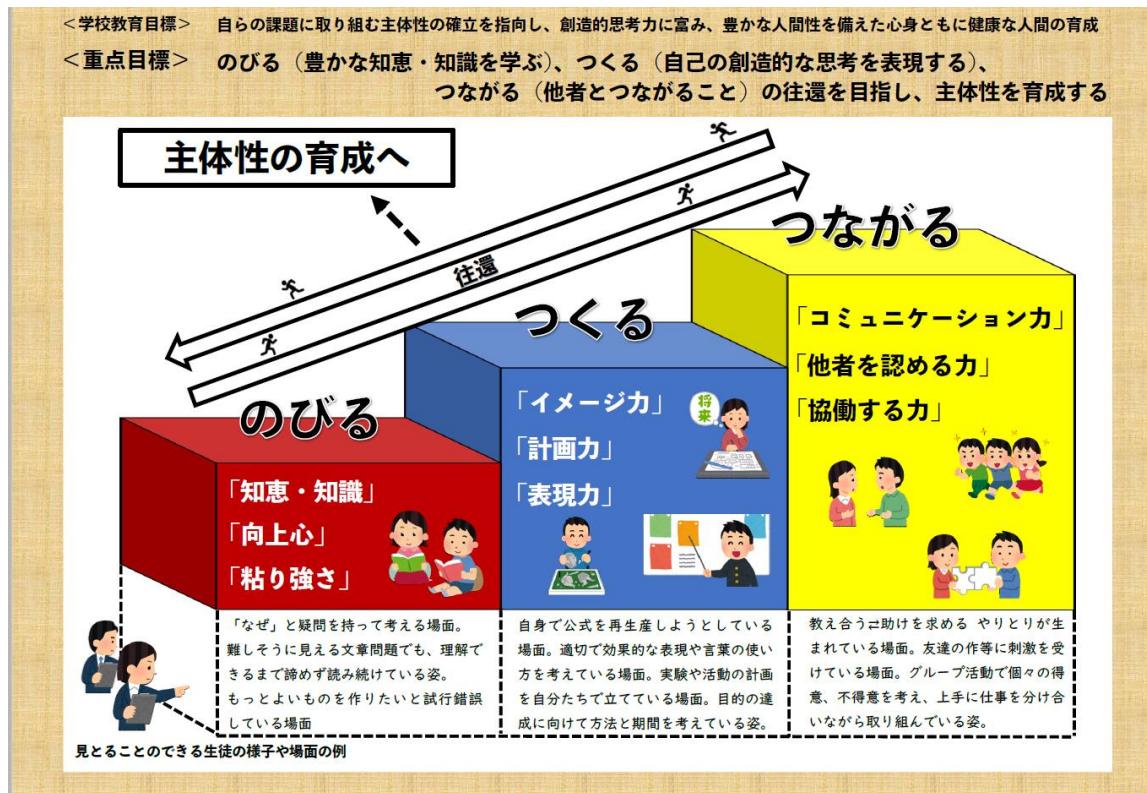
日	曜日	4月行事予定
6	火	第75回入学式
7	水	小学校入学式
8	月	始業式
9	火	1年生オリエンテーション 身体測定
12	月	給食開始
14	水	1年生部活動オリエンテーション 体験入部・見学
15	木	1年生内科検診
16	金	クラス写真撮影
19	月	前期生徒議会・各種委員会
21	水	創立記念日 認証式・生徒総会 1年生家庭訪問
22	木	1年生家庭訪問 2.3年生7時間授業
23	金	1年生家庭訪問 2.3年生7時間授業
26	月	検尿一次
27	火	検尿一次 ノークラブデー
28	水	避難訓練
29	木	昭和の日
30	金	体育大会エントリー

5月の主な行事予定

- 7日（金）3年修学旅行説明会
 - 17日18日（月火）中間テスト
 - 27日（木）全国学力学習状況調査
 - 28日（金）体育大会
- ※4月の家庭訪問・5月の参観日、体育大会等については、今後感染状況をみながら実施について検討をしていきます。



今年度の教育重点目標について



昨年度は、コロナ禍により学校の教育活動が止まるほどたいへんな1年となりました。今年度も同じような状況は続いていますが、より質の高い教育の実践を行うために、先に示したように明確な「目的意識」をもって今年度の重点目標を決めました。

昨年度末に、校内研修において本校の課題や現状を共有しながら、今年度の目標を作りました。今年度なってからも、研修主任を中心となって、さらに新たに赴任した職員も加わって、目標の最後の仕上げをしました。以下、簡単に本年度の重点目標を紹介します。

今年度の重点目標を、「のびる（豊かな知恵・知識を学び）、つくる（自己の創造的な思考を表現する）、つながる（他者とつながること）の往還をめざし、主体性を育成する」としました。

まずははじめに、学校教育目標の中から「主体性の確立」に着目しました。そして主体性を育成するためにはどのような力が必要なのか考えました。このグランドデザインは、主体性を育成するために必要だと思われる力を（1）のびる、（2）つくる、（3）つながるの3観点でまとめたものです。

まず（1）のびるは、「豊かな知恵・知識を学ぶこと」を意味し、知恵や知識、語彙力等だけでなく、向上心や粘り強さ、自己肯定感、挑戦心などの内面的な力も含んでいます。

次に、（2）つくるは、「自己の創造的な思考を表現すること」であり、創造に向けた思考力や分析力、計画力、目的・ビジョンを持つ力などが含まれます。そして、言葉や作品で表現する力も含まれています。

（3）つながるは、「他者とつながること」であり、互いを認め合いながら協働し、コミュニケーションを築いていくことを目指しています。その中で、リーダーシップを発揮したり、他者に共感し

たりする力が含まれています。また、助けを求められる力及び、そのような温かい雰囲気、環境を作ることができるような人間力が含まれています。

これら（1）～（3）は、段階的に上っていくものではありません。何度も行ったり来たり（往還）しながら、それぞれの観点の力を伸ばしていくことで、主体性の育成に向かうことができると言えました。粘り強く学び続けて、挑戦心を持ちながら自身の知恵・知識を深める。そして、思考を深めながら、自身の作品を創造する。周りと協働しながら互いに高めあうコミュニケーションをとる。そうすることで、自身の作品がよりよいものになり、自身の知識や知的好奇心が高まる。このように、（1）～（3）の観点を行き来する中で、生徒の主体性を確立していくことをめざしたいと思います。

※表彰者の名前掲載は、ホームページ上では行いませんので、削除しています。
ご理解ください。